

# 令和3年度 奥州市一般会計当初予算について

「協働のまちづくりの定着」と「行政経営改革の着実な推進」に努めることを基本の方針と定め編成。

- ▶奥州市総合計画に掲載している事業について、事業費及び財源を精査し、最も効率的な手法により確実に推進する。
- ▶新規事業の構築や既存事業の見直しに当たっては「協働のまちづくり」の理念に基づき方策を検討した上で事業化する。
- ▶財政健全化の推進により事務事業の減量・効率化、経費全般の縮減・節減に努める。

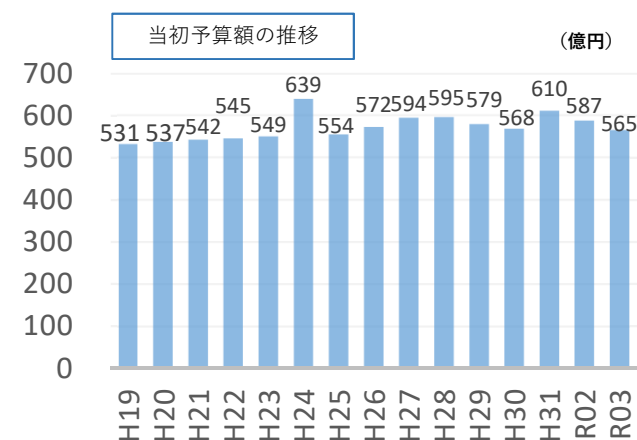


## 1 予算規模

	令和3年度	令和2年度	増減額	伸び率
予算総額	56,478,500	58,723,900	△2,245,400	△3.8
うち一般財源額	38,859,243	40,808,996	△1,949,753	△4.8

(千円・%)

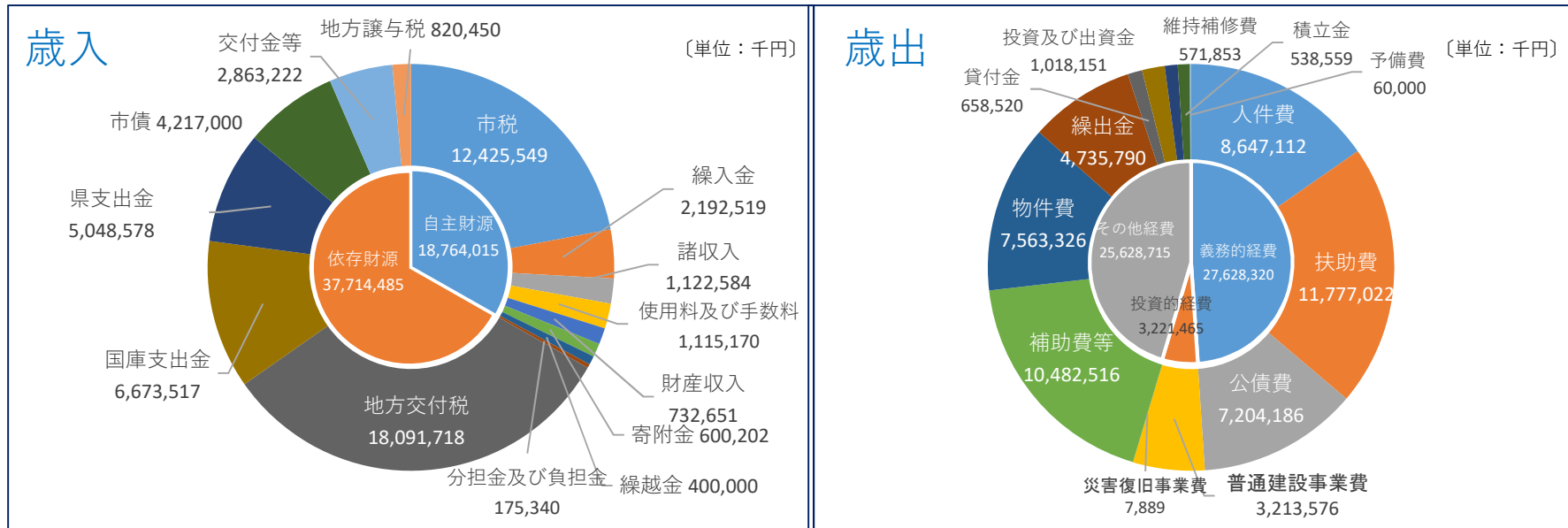
令和3年度予算総額は、民生費において社会保障関連経費の伸びにより約4.2億円増となったものの、令和2年度の特異要因であったごみ焼却施設長寿命化事業が終了（約16.5億円減）したこと、出資金（留保資金）の一時増額が必要であった下水道事業の法適用化が完了（約4.8億減）したことの影響や、予算編成において令和2年度から引き続き枠配分方式による歳出規模の抑制に取り組んだことなどにより、前年度と比較して予算総額で約22.5億円（3.8%）、一般財源額で約19.5億円（4.8%）の減となった。



※H22・H26・H30の当初予算は骨格予算のため6月補正後の予算額としています。

## 2 歳入及び歳出の概要

令和3年度当初予算総額 56,478,500千円



- ▶市税は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を反映し、個人市民税で10.3%、法人市民税で21.0%の大幅減により6.0%の減。
- ▶繰入金は、財政調整基金繰入金の52.8%減などにより全体として36.8%の減。
- ▶寄附金は、ふるさと応援寄附金の増により39.5%の増。
- ▶普通交付税は、国の地方財政対策を基に、税収減による増分はあるものの、合併算定替えの終了や臨時財政対策債への振替の増により0.5%の減。
- ▶特別交付税は、奥州金ケ崎行政事務組合が実施するごみ焼却施設長寿命化事業の終了に伴う震災復興特別交付税の減などにより40.9%の減。
- ▶市債は、一般財源を補填するための臨時財政対策債の増などにより9.3%の増。

- ▶義務的経費は、社会保障関連経費の伸びにより扶助費で3.6%増となったものの、人件費で1.2%、公債費で4.3%の減となったため、全体としては0.1%の減。
- ▶投資的経費は、水沢中学校校舎等改築工事、企業立地促進補助金の増などがあるものの、全体としては12.1%の減。
- ▶補助費等は、ごみ焼却施設長寿命化事業の終了に伴う奥州金ケ崎行政事務組合負担金の減や補助金、負担金の見直しなどにより13.8%の減。
- ▶物件費は、事務事業の見直しにより委託料等で減となる事業が増加したものの、ふるさと納税の増に伴うふるさと応援寄附業務代行委託料の増、選挙事務費の増などにより0.9%の増。
- ▶投資及び出資金は、下水道事業法適用化の完了に伴う下水道会計出資金の減により31.7%の減。

### 3 重点的に予算を配分した主な事業

#### ◎ 市政発展のための戦略プロジェクト

※事業の概要はP.17～19の「総合戦略事業」一覧参照

▶ 「誇りと幸せを実感できるまちづくり」 ～人口プロジェクト～	235,660 千円	
・ 安定した雇用と新しい産業の創出 (伝統産業振興事業、観光客誘致促進事業、新規就農者支援事業、ブランド牛生産拡大事業など)	うち 120,226 千円	
・ 出会いを通じた結婚支援、子育て環境ナンバーワンへ (保育士等確保緊急対策事業、医療介護従事者修学資金貸付事業、不妊治療費助成事業など)	うち 40,506 千円	
・ 体験を通じた新たな奥州ファンの開拓 (カヌー等推進事業、移住支援事業など)	うち 28,211 千円	
・ 地域愛の醸成と、安心・安全に生活できる個性豊かな地域社会の実現 (多文化共生推進事業、地区内交通運行事業など)	うち 46,717 千円	

※金額右のNOはP.5の主な事業のNOと一致

▶ 「世界へ発信するまちづくり」 ～ILCプロジェクト～ ( I L C 推進事業)	9,977 千円	7
--	----------	---

#### ◎ 総合計画・施策の大綱別事業

※金額右のNoはP.5～16の主な事業のNoと一致

▶ みんなで創る生きがいあふれるまちづくり		
・ 地区センター管理事業 (地区センター指定管理料分)	336,931 千円	16
・ 地域づくり推進事業 (協働のまちづくり交付金など)	196,215 千円	18
・ 奥州ふるさと応援寄附事業	327,970 千円	5
・ カヌー競技等推進事業	14,535 千円	10
▶ 未来を拓く人を育てる学びのまちづくり		
・ 水沢中学校校舎等改築事業	114,681 千円	162
・ 教育用コンピュータ管理事業 (小・中学校のICT環境の整備など)	105,520 千円	155
・ 中学校スクールバス更新事業	95,232 千円	157

※金額右のNoはP.5～16の主な事業の番号と一致

▶健康で安心して暮らせるまちづくり		
・特別支援教育・保育事業（延長保育、一時預かり保育など）	274,217 千円	48
・子ども医療費給付事業	288,986 千円	44
▶豊かさの魅力あるまちづくり		
・企業立地促進補助金	300,000 千円	117
・経営継承・発展等支援事業（農業経営における後継者支援）	11,781 千円	88
▶環境にやさしい安全・安心なまちづくり		
・ごみ及びし尿処理施設運営等負担事業（奥州金ヶ崎行政事務組合負担金）	808,651 千円	75
・空き家対策事業	6,052 千円	72
・消防施設設備整備事業	121,496 千円	147
・地区内交通運行事業	15,838 千円	23
▶快適な暮らしを支えるまちづくり		
・社会資本整備総合交付金事業（道路改良工事、通学路改善など）	506,688 千円	134・135
・都市基盤長寿命化事業（橋りょう、公園、公営住宅など）	250,781 千円	138・142・144

## 4 基礎的財政収支（プライマリーバランス）の状況

予算上のプライマリーバランスは、基金取崩額や市債の抑制により約11億円の黒字となり、起債残高は、年度末比較で26.9億円の減となる見込み。

$$(1) \text{（歳入総額－地方債発行額・基金等取崩額等）－（歳出総額－地方債元利償還額等）} \\ = 1,100 \text{ 百万円}$$

$$(2) \text{ 借入予定額（42.2億円）－償還元金（69.1億円）} = \Delta 26.9 \text{ 億円}$$

◇令和2年度末・起債残高見込額 640.2億円 ◇令和3年度末・起債残高見込額 613.3億円